

熊本市スマート農業加速化事業 取組事例

■取組年度／取組事業

R 3 年度／スマート農業整備事業

■事業実施主体

東区山ノ内地区：農業者が組織する団体

■事業概要

高齢化や担い手不足により産地の維持が難しくなっているため、GPSガイダンス付きの乗用管理機を導入し作業効率の向上を図り、高品質で安定した生産を行う。

■事業量

乗用管理機、GPSガイダンスモニター、無線LANユニット導入

■事業費内訳

総事業費：3,685,220円 自己資金：2,010,220円

市補助額：1,675,000円（補助率 1/2 以内）

■事業効果

[栽培面積の増加]

R 2（導入前）	29.5ha	}	面積 5.4 % 増加
R 4（導入後）	31.1ha		

[作業時間の短縮]

R 2（導入前）	20分/10a	}	作業時間 50 % 減少
R 4（導入後）	10分/10a		

■導入した機械の写真



★当事業を活用した農業者の声



防除作業を機械に乗りながら行えたことで、作業が簡素化できています。効率よく防除できるようになり、栽培面積を年々増やすことができています！

熊本市スマート農業加速化事業 取組事例

■取組年度／取組事業

R2年度／スマート農業整備事業

■事業実施主体

東区画図地区：認定農業者

■事業概要

水稻の生産、販売をしており、米袋を積み上げるなどの作業が重労働であるため、体力的な負担が大きく、また臨時雇用も難しい状況にある。アシストスーツを導入することにより負荷の軽減を図り、規模拡大や高齢者の雇用につなげる。

■事業量

アシストスーツ一式

■事業費内訳

総事業費：149,600円 自己資金：81,600円

市補助額：68,000円（補助率1/2以内）

■事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響で、労働力の確保が出来ず、規模拡大を行うことができない状況にある。また、高齢者の雇用も難しい状況にある。目標達成には至っていないが、アシストスーツを導入したことにより作業負担を軽減することができているため、高齢者雇用や規模拡大に積極的に取り組める要素となった。

■導入技術イメージ



出典:農林水産省Webサイト

(アシストスーツ:農林水産省 (maff.go.jp))

★当事業を活用した農業者の声



アシストスーツは出荷の際に活用しています。高齢の両親でも米袋をもちあげる作業が楽に行えるので助かっています。コロナ終息後は雇用を行い、規模拡大につなげたいと思います！

熊本市スマート農業加速化事業 🌱 取組事例 🌱

■取組年度／取組事業

R 3 年度／スマート農業整備事業

■事業実施主体

西区小島地区：認定農業者

■事業概要

なす栽培において環境モニタリング・制御装置を導入し、ハウス内環境をリアルタイムで把握するとともに、炭酸ガス発生装置の自動制御を行うことで栽培に最適な環境を実現し、収量・秀品率の向上を図る。

■事業量

環境制御装置 一式

■事業費内訳

総事業費：319,135円 自己資金：174,135円

市補助金：145,000円（補助率 1/2 以内）

■事業効果

[収量の増加]

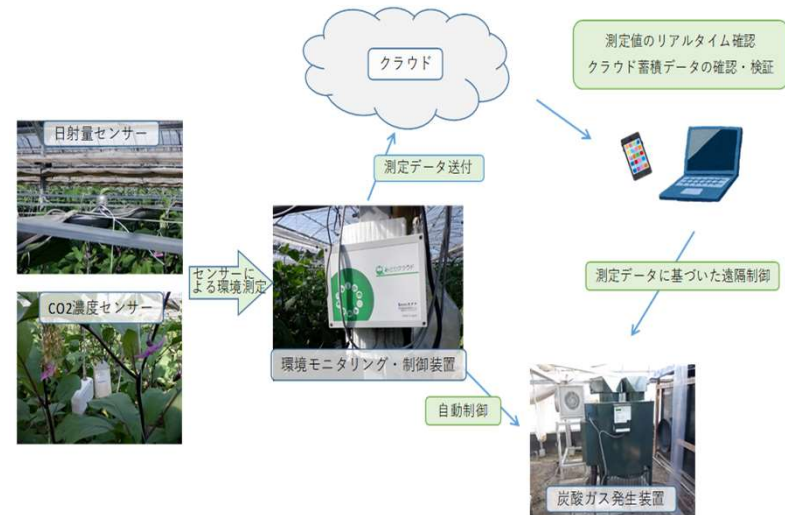
R 1（導入前）	86,000kg	➡	収量 5.0%増加
R 2～3 平均（導入後）	90,500kg		

[秀品率の向上]

R 1（導入前）	60.00%	➡	秀品率 2.2%向上
R 2～3 平均（導入後）	62.20%		

※各年度9～翌6月の出荷実績

■導入した機械の写真



★当事業を活用した農業者の声



スマートフォン等を使って、リアルタイムで自動制御ができるため、栽培に最適な環境を作ることができ収量の向上に繋がっています。モニタリングシステムは高額であるため導入に躊躇していましたが、市の補助事業のおかげで導入に踏み切ることができました！

熊本市スマート農業加速化事業 🌱 取組事例 🌱

■取組年度／取組事業

令和2年度／スマート農業整備事業

■事業実施主体

南区並建地区：農業者が組織する団体

■事業概要

手作業で行っていた水稻防除にドローンを導入することで、作業時間の大幅な短縮、効率的な防除による農薬経費の削減を目標としたもの。

■事業量

ドローン 1台

■事業費内訳

総事業費：2,743,560円 自己資金：1,690,560円

市補助金：1,053,000円（補助率1/2以内）

■事業効果

[防除作業時間の短縮]

R1（導入前） 20分/10a

R4（導入後） 15分/10a

**作業時間
25%削減**

[農薬経費の削減]

R1（導入前） 2,000円/10a

R4（導入後） 1,300円/10a

**農薬経費
35%減少**

■導入技術イメージ



出典:農林水産省Webサイト
(農業用ドローン:農林水産省
(maff.go.jp))

★当事業を活用した農業者の声



ドローンで均一な散布ができることで、病害虫の発生頻度が減り、農薬の使用量も大幅に減少しました。1/2補助があったとはいえ高額でしたが、身体的負担が大きく軽減されたので導入してよかったです！